



まなびねっと



～地域の中で「共に生きる力」をはぐくむ福祉教育～

社会福祉法人 美里町社会福祉協議会



社会福祉協議会(社協)って こんな団体です

- ◆各都道府県・市町村に設置されている「**地域福祉**」の推進を目的とする、公共性の高い民間の非営利団体」です。
- ◆住民の困りごと相談、ボランティアや地域活動の支援、赤い羽根共同募金の推進など、**全世代型の「福祉のまちづくり」**に取り組んでいます。

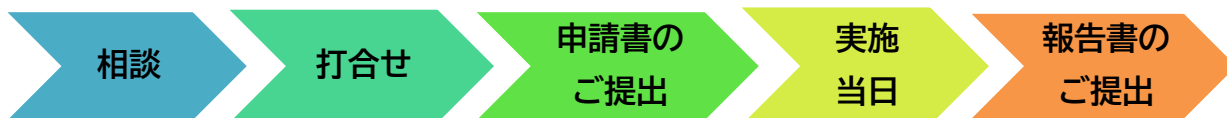


「ふくし」をテーマに **学校と地域の協働学習**をお手伝いします。

- ◆福祉は、「**ふだんの ぐらしの しあわせ**」。福祉教育は、「**共に生きる力**」を育む体験学習。子どもたちが地域に暮らす人々と**出会い**、「**自分にできること**」を考え・行動していく学習を、**地域の方々と一緒に**サポートします。
- ◆感染症拡大により他者とふれあうことが難しい場合にも、手紙や動画、オンライン交流などのリモート方式で多様な「暮らし方・生き方」や「想い」にふれることができる機会を提案します。



実施の流れ



※出前講座は原則、**1学年あたり年間3テーマ推奨**／**小学校3年生以上**を対象としております。地域との協働に関するご相談やプログラムのご提供については、対象や回数の定めはありません。お気軽にご相談ください。

社会福祉法人美里町社会福祉協議会 TEL: 0229-32-2940

FAX: 0229-32-5160 / Email: misato@misato-wel.com

〒987-0038 美里町駅東二丁目 17-4(美里町駅東地域交流センター)



この事業は皆様からの「赤い羽根共同募金」と「社協会員会費」をもとに実施しています。



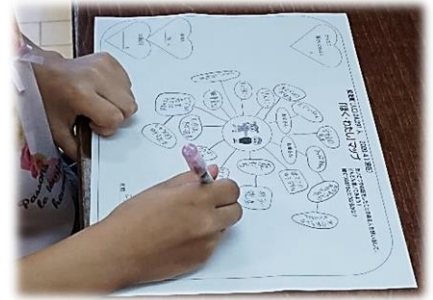
福祉学習 プログラム例 (内容は一例です)



【総論：90分】

「ふくし」って どんなこと？

- ・「福祉」の合言葉「ふだんの 暮らしの しあわせ」
- ・「ぼく・わたしマップ」で つながりを再確認
- ・まちの中にある ふくしの工夫
ユニバーサルデザイン、ふくしマーク、暮らしを支えるグッズなど



【多様な暮らし① (視覚障がい)：90分】

「目が不自由」って どんなこと？

- ・「佐藤さん」の暮らしを動画で紹介 (DVD 上映)
- ・佐藤さんへボイスメッセージを贈ろう
- ・サウンドテーブルテニス (盲人卓球) 体験 導入
(専用ボール、点字体験セット等を貸出)



【多様な暮らし② (聴覚障がい)：90分】

「耳が不自由」って どんなこと？

- ・「佐々木さん夫婦」の暮らしを動画で紹介
(※事前学習:45分)
- ・佐々木さん夫婦と交流 (90分)



【多様な暮らし③ (身体障がい)：90分】

パラスポーツ体験

- ・障害者福祉協会のみなさんと
パラスポーツで交流しよう
(ボッチャ、フライングディスクなど)



【多様な暮らし④ (高齢者)：45～90分】

としをとるって どんなこと？

- ・ワーク「高齢者の心とからだ」(45分)
- ・高齢者施設の方々とオンライン交流 (90分)
- ・認知症キッズサポーター養成講座 (90分)



【やってみよう！ボランティア①】

赤い羽根共同募金ってどんなこと？

- ・講話「赤い羽根共同募金ってどんなこと」
- ・赤い羽根キッズプロジェクト導入
(校内募金活動など)



【やってみよう！ボランティア②】

ちょこっとボランティア体験

- ・講話「ボランティアって どんなこと」
- ・やってみよう！SDGsボランティア
(使用済み切手の仕分け体験)



防災学習 プログラム例 (内容は一例です/各45分)



【非常持ち出し品を考えよう】

ぼうさいビンゴゲーム

- ・自分に必要な「非常持ち出し品」を考えよう
- ・ビンゴゲームで楽しく知ろう 防災グッズ



【身近なもので 命を守ろう】

ぼうさいグッズ作り体験

- ・新聞紙でスリッパ、コップ、クッション
- ・ポリ袋でレインコート など



【共助を考えよう】

ひなん所で「ネコの手ボランティア」

- ・もし避難所で こんな人達と出会ったら？
- ・自分たちにできる「ネコの手ボランティア」は？

※静岡県発祥「HUG(避難所運営ゲーム)」をもとに、他者をイメージしながら「共助」について考えることに重点をおいて考案したプログラムです。
(6年生道徳『うちら「ネコの手」ボランティア』との関連学習として設定)

